

# 平成28年度 事業報告書

平成28年 4月 1日から 平成29年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 二枚目の名刺

## 1 事業の成果：

平成28年度の事業成果として、①NPO等支援事業・②2枚目の名刺普及・啓発活動事業について以下の通り記載します。

### (1) NPO等支援事業

本事業では、前年度に引き続き、社会人とNPO等の団体が一緒になって団体の事業推進を実践する「NPOサポートプロジェクト」（以下、サポートプロジェクト）を主な活動として行いました。

このサポートプロジェクトについて、今年度は前年度に12件であったプロジェクトを、今年度は、19件（詳細は「2. 事業の実施に関する事項」を参照）実施し、より多くの社会人が2枚目の名刺を持つきっかけを作ることに取り組みました。このような拡大を実現するにあたって、以下の5点に重点的に取り組みました。

#### ①企業との連携の強化

2014年より始めた、企業との協働でのサポートプロジェクトの実践を今年度はより一層強化して取り組みました。具体的には、GAP Japan株式会社やSCSK株式会社、株式会社インテリジェンス、NTTデータシステム技術株式会社といった企業と共に、NPO×企業の取り組みを人事・人材育成やCSRの取り組みとして実践してきました。

#### ②地域への広がり

これまでサポートプロジェクトは、首都圏を中心に実施していましたが、今年度は他の地域に広げることに取り組みました。具体的には、宮城県石巻市や秋田県横手市において、社会課題の解決や地域の活性に取り組む社会起業家と、東京の社会人チームが協働する、というプロジェクトの取り組みを実施しました。

#### ③プロジェクトコーディネーターの輩出

これらのプロジェクトを実施する体制づくりとして、サポートプロジェクトを運営する人材（プロジェクトコーディネーター）の養成・輩出に取り組みました。二枚目の名刺のプロジェクトコーディネーターの知見の共有を行うとともに、実際にサポートプロジェクトをコーディネートする実践に取り組み、第1期3名、第2期3名を輩出。今後この人員を広げていくことを目指します。

#### ④サポートプロジェクトの効果の実証研究

サポートプロジェクトを「越境学習」（組織の枠を越えた実践を通じて学習する新しいスタイル）の実践として位置づけ、アカデミアとの協働を通じた調査を実施しました。具体的には、サポートプロジェクトを通じた社会人の変化を明らかにするために、法政大学大学院石山教授、東京経済大学小山専任講師らと協働して、「サポートプロジェクトを通じた人材能力開発の実証研究」を実施しました。その成果として、サポートプロジェクト事前・事後の能力変化を定量的に明らかにするフレームワークとアセスメントツールを開発することができました。また、その成果は学術誌『組織科学』へ論文としても査読提出しています。

#### (5) プロジェクト効果の発信

サポートプロジェクトの効果をより多くの方々に発信する取り組みにも着手しました。具体的には、日本の人事部「HRアワード2016」では人材開発部門の最優秀賞を受賞し、日本財団ソーシャルイノベーションでも石山教授や企業人事らとともにプロジェクト事例について発信登壇を行いました。

## (2) 2枚目の名刺普及・啓発活動事業

本事業では、前年度に引き続き、社会人やNPO、企業、行政の会合「Common Room」の実施をするとともに、より広く2枚目の名刺を持つスタイルを伝える取り組みとして、以下の3つを実践しました。

### ① 2枚目の名刺Common Roomの開催

今年度は、Common Roomの件数をこれまでよりも増やすことを目指して、年間で19件実施をしました。(詳細は「2事業の実施に関する事項」を参照)

### ② 2枚目の名刺 夏フェス2017の開催

Common Roomの拡大版である「2枚目の名刺 夏フェス2017」では、300人規模の一日イベントだけでなく、プレセッションやポストセッションと合わせて15のセッションを実施し、様々な切り口から2枚目の名刺のスタイルを発信していきました。

これらのイベントから、以下のような成果を実現しました。

#### ◆Pre Weekで体現できた「2枚目の名刺」の広がり

Pre Weekでは、約2週間にわたり、11のイベントを実施。アクター、テーマの広がりを示しました。(アクターの広がり)

NPO等 (NPO法人サービスグラント、NPO法人 Accountability for Change、等) や、企業 (株式会社パナナ、富士ゼロックス株式会社、ギャップジャパン株式会社、株式会社インテリジェンス、株式会社Sansan)、さらには行政職員 (埼玉市役所) など、各セクターのアクターと協働しました。

(テーマの広がり)

テーマもこれまでの「社会貢献」や「人材育成」だけでなく、NPOマーケティング・情報発信 (株式会社サムライトとの協働)、世代を超えた新しいチャレンジ (ライフネット生命出口会長、株式会社Glopathとの協働) といった、新しいテーマも発信しました。

#### ◆8/7 フィナーレからの発信

8/7のフィナーレイベントでは、大きく以下の3点について新しい知見や情報の発信を実施しました。

(2枚目の名刺「NPOサポートプロジェクト」の成果実証)

「NPOサポートプロジェクト」がNPOの支援だけでなく、プロジェクトに参加する社会人にとっても、人材育成の価値があることを実証的に明らかにしました。

(ミドル世代の持つ2枚目の名刺)

2枚目の名刺を持つ新しい層としてミドル (40代・50代) の参加も増える中、キャリアディベロップメントの観点から、ミドル層にとって2枚目の名刺を持つことがどんな価値を持つのか、発信しました。

(新しい層が持つ2枚目の名刺)

これまで2枚目の名刺を持ちにくかった層へのアプローチの可能性についても発信しました。具体的には、働くママたちや、将来の2枚目の名刺ホルダーである子どもたちへのアプローチ含め、新しい2枚目の名刺のスタイルの可能性を発信しました。

### ③ 2枚目の名刺ラボの運営

企業や行政、大学、メディア約20社との連携を通じて、新しい実践や知見を作り出すラボコミュニティとして「2枚目の名刺ラボ」を運営してきました。具体的な活動としては、月に1回程度の「ラボセッション」で2枚目の名刺で実施したりサーチの報告共有や、各企業での2枚目の名刺スタイルの実践例を共有する場を実施することと、企業や大学との協働リサーチを行い発信してきました。

そこからの成果としては、「越境学習」の実証研究や、社外活動と社会人のキャリア意識のリサーチ、副業/兼業に関する企業・社会人の意識調査等の実施・成果報告等を行いました。

### ④ 2枚目の名刺オウンドメディア「2枚目の名刺 Webマガジン」の運営

社会人、企業人事等を対象に、「2枚目の名刺」というスタイルに関連する、個人のストーリー、企業の取り組み、調査・研究成果、またNPO2枚目の名刺の活動の情報発信拠点として、「2枚目の名刺Webマガジン」の運営を開始。NPO2枚目の名刺の活動に直接かわらない、新しい2枚目の名刺を持つ層への情報提供を通じて、より広い層へ2枚目の名刺というスタイルを広げていくことに取り組みました。

### ⑤ 渋谷区でのモデル開発

社会モデルの先進取り組み自治体である渋谷区にて、渋谷区及び渋谷区在住企業、NPO等と協働し、新しい地域モデルの開発に取り組みました。具体的には、「渋谷をつなげる30人」へ参画し新しい地域モデルの開発の検討を進めました。また、子どもを中心に据えた地域づくりを進めるプロジェクト「Social Kids Action Project」を立ち上げました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
NPO等支援事業(2枚目の名刺を保有する社会人によるNPO等への助言・支援事業)	日本財団事業(病気の子ども支援)	平成28年1月~5月	—	6名	—	16,800
	日本財団事業(日本の伝統文化支援)	平成28年1月~5月	—	6名	—	
	日本財団事業(日本の伝統文化支援)2ndフェーズ	平成28年5月~10月	—	6名	—	
	日本財団事業(病気の子ども支援)2ndフェーズ	平成28年5月~10月	—	6名	—	
	日本財団事業 B-Leagueとの連携	平成28年5月~10月	—	6名	—	
	(社)りぶらす SCSK社協働	平成28年4月~10月	—	6名	—	
	AFRIKA ROSE パーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	NPO法人育て上げネットパーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	warmer warmer パーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	NPO法人ブラインドサッカー協会パーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	NPO法人じぶん未来クラブパーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	soar パーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	manma パーソル社協働	平成28年8月~11月	—	6名	—	
	秋田ことづくり SCSK社協働	平成29年1月~4月	—	6名	—	

	NPO 法人シャプ ラニール GAP 社協 働	平成 28 年 9 月 ～12 月	—	6 名	—	
	NPO 法人 Arrow Arrow GAP 社協働	平成 28 年 9 月 ～12 月	—	6 名	—	
	NPO 法人 Bridge Asia Japan シャ プラニール GAP 社協働	平成 28 年 9 月 ～12 月	—	6 名	—	
	(公社)シャンテイ 国際ボランティア 会 NST 社協働	平成 29 年 1 月 ～3 月	—	6 名	—	
	NPO 法人 子育て 学協会 NST 社協 働	平成 29 年 1 月 ～3 月	—	6 名	—	
2 枚目の 名 刺 普 及・啓発 活動事業 (NPO 等 での 助 言・支援 活動等を 通じた 2 枚目の名 刺を保有 する意義 の普及・ 啓 発 活 動)	Common Room～ Trucost上映会～	平成28年4月5日	Sansan株式 会社	6名	40名	646
	Common Room～ 変化を生み出すプ ロジェクト、始め ます～ w/日本財 団	平成 28 年 5 月 28 日	日本財団	7 名	42 名	
	Common Room～ みんなで考えてみ たい産休育休から の復帰～ w/サー ビスグラント	平成 28 年 7 月 23 日	昭和女子大学	6 名	15 名	
	Common Room～ 地域と繋がる新し い働き方～ w/ETIC、コクヨ	平成 28 年 7 月 24 日	コクヨ株式会 社	4 名	26 名	
	Common Room～ Enjoy Diversity & Inclusion～ w/G A P	平成 28 年 7 月 28 日	GAP Japan	3 名	56 名	
	Common Room～ NPO と会計士のプ ロボノマッチング 入門セッション～ w/A F C	平成 28 年 7 月 29 日	Sansan 株式 会社	3 名	3 名	

Common Room～ 変化を生み出すプロジェクト、始めます。～ w/テンプグループ	平成 28 年 7 月 31 日	株式会社インテリ ジェンス	6 名	49 名
Common Room～ 2 枚目の名刺で行政マンの限界を超える～	平成 28 年 7 月 31 日	まちラボおお みや	4 名	23 名
Common Room～ NPO とスタートアップが手を組むと、どうなる？サムライトと 2 枚目の名刺が、オウンドメディアを活用した Web 広報の戦略を語る。～ w/サムライト	平成 28 年 8 月 1 日	サムライト株 式会社	3 名	22 名
Common Room～ パラレルキャリアが本業に生きる？越境学習のススメ～w/パソナ	平成 28 年 8 月 3 日	株式会社パソ ナ	3 名	30 名
Common Room～ Social-Bar× Common Room～ w/富士ゼロックス 端数倶楽部	平成 28 年 8 月 4 日	富士ゼロック ス株式会社	3 名	19 名
Common Room～ 私が起業をした理由（わけ）～ w/ 日本マーケティング協会	平成 28 年 8 月 4 日	日本マーケテ ィング協会	3 名	62 名
Common Room～ 組織の枠を超えて、広がる出会い自分らしいストーリーの作り方～ w/Sansan	平成 28 年 8 月 5 日	Sansan 株式 会社	3 名	47 名

Common Room～ 二枚目の名刺夏フ ェス 2016	平成 28 年 8 月 7 日	株式会社パソ ナ	15 名	310 名	
Common Room～ 『二枚目な私』と 出会う あなたの そのモヤモヤ感、 一緒にアウトプッ トして一歩前に踏 み出してみません か～	平成 28 年 8 月 21 日	世田谷区民セ ンター	4 名	11 名	
Common Room～ 変化を生み出すプ ロジェクト、始め ます～ w/GAP	平成 28 年 9 月 10 日	GAP Japan	3 名	34 名	
Common Room～ 変化を生み出すプ ロジェクト、始め ます～ w/NST	平成 28 年 11 月 27 日	NTT データ システム技術	3 名	32 名	
Common Room～ 違いを楽しむ、自 分を変える～	平成 29 年 2 月 19 日	ヤフー株式会 社	3 名	63 名	
Common Room～ 変化に飛び込め、 誰もが笑顔になれ る世界を目指して ～	平成 29 年 3 月 20 日	花王カスタマ ーマーケティング	5 名	45 名	